

GeneXus
Day 2026



ベンダー依存からの脱却と内製化による業務変革

2026年2月5日(木)
株式会社サンロジスティックス
経理本部システム管理部



株式会社

サンロジスティックス

20th
Anniversary

アジェンダ

1. 会社概要と私たちの役割
2. 内製化に踏み切った「3つの課題」
3. GeneXusの採用理由
4. 内製化の体制と開発実績
5. これからの展望
6. まとめ

1. 会社概要

商号	株式会社サンロジスティックス
設立	2003年2月4日
本社所在地	〒359-1123 埼玉県所沢市日吉町18-1 ARAI-181ビル
資本金	3億8000万円
代表取締役社長	吉田 修平
従業員数	608名（2024年3月末現在）
主な事業内容	食品（パン・和洋菓子・デリカテッセン・米など）のパブリック制共同配送
関連会社	山崎製パン(株)、(株)ヤマザキ物流
事業所	全国14か所（17拠点）に事業所を展開

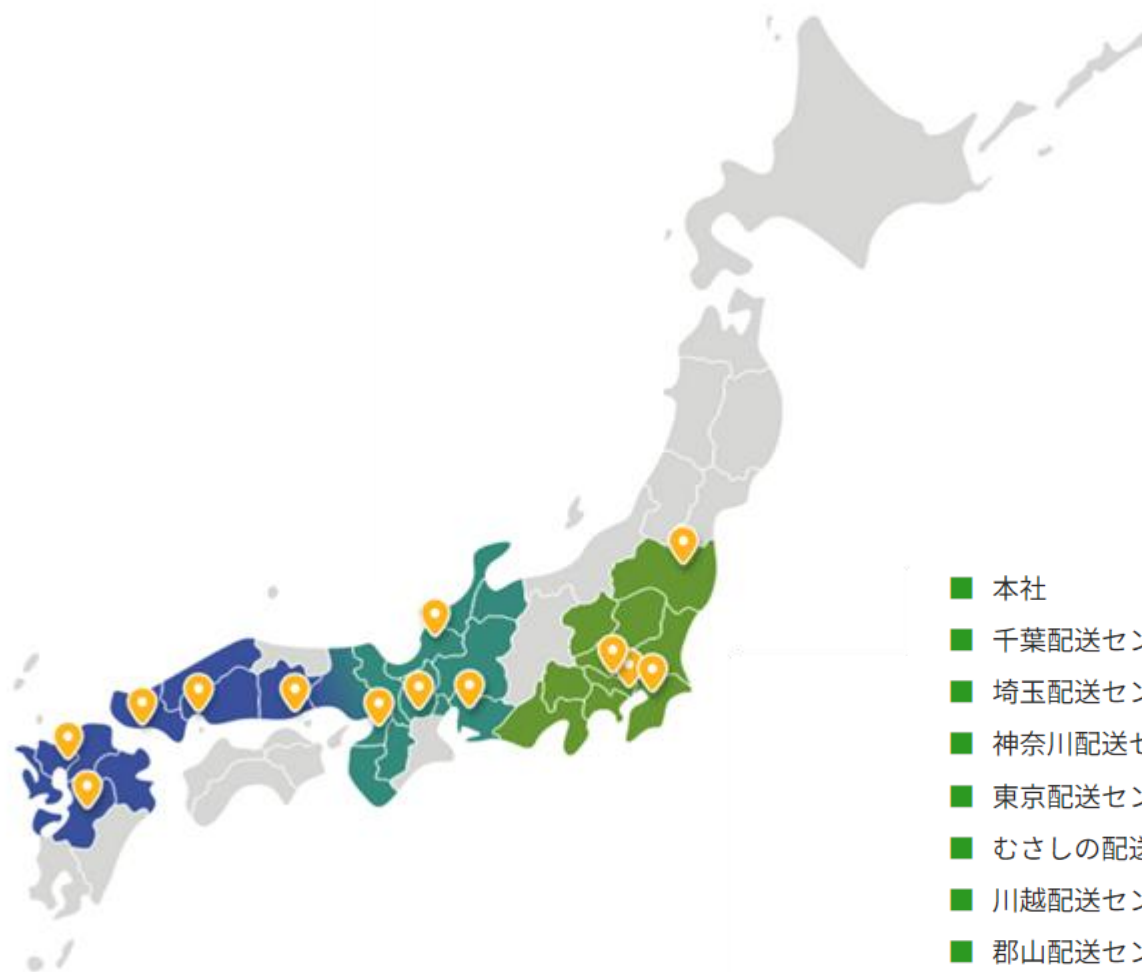
1. 会社概要 – 拠点

関 西

- 大阪配送センター (大阪府摂津市)
- 阪南配送センター (大阪府柏原市)
- 滋賀配送センター (滋賀県湖南市)
- 北陸デポ (福井県福井市)
- 名古屋配送センター (愛知県北名古屋市)

西日本

- 岡山配送センター (岡山県倉敷市)
- 広島配送センター (広島県安芸郡)
- 山口デポ (山口県山口市)
- 鳥栖配送センター (佐賀県三養基郡)
- 熊本デポ (熊本県菊池郡)



関 東

- 本社 (埼玉県所沢市)
- 千葉配送センター (千葉県印西市)
- 埼玉配送センター (埼玉県北葛飾郡)
- 神奈川配送センター (神奈川県愛甲郡)
- 東京配送センター (東京都葛飾区)
- むさしの配送センター (埼玉県入間郡)
- 川越配送センター (埼玉県川越市)
- 郡山配送センター (福島県安達郡)

1. 会社概要 – 取り扱いアイテム

パンメーカー

- 伊藤製パン株式会社
- 株式会社YKベーキングカンパニー
- 第一屋製パン株式会社
- 株式会社日本アクセス
- 株式会社フランソア
- 株式会社リョーユーパン
- 株式会社木村屋総本店
- 敷島製パン株式会社
- 株式会社タカキベーカリー
- フジパン株式会社
- 山崎製パン株式会社

他多数

和菓子メーカー

- 明日香食品株式会社
- 木内製菓株式会社
- 株式会社中村屋
- 株式会社武蔵製菓
- 株式会社あわしま堂
- 株式会社十勝大福本舗
- 阪神製菓株式会社

他多数

精米メーカー

- アイリスオーヤマ株式会社
- 株式会社オクモト
- 木徳神糧株式会社
- 島根米穀株式会社
- 株式会社神明
- 東海澱粉株式会社
- 瑞穂糧穀株式会社
- 山口農協直販株式会社
- 伊丹産業株式会社
- 株式会社カツヤ
- 熊本パールライス株式会社
- 食協株式会社
- 全農パールライス(株)
- 株式会社名古屋食糧
- 株式会社むらせ
- 株式会社ヤマタネ

他多数

惣菜メーカー

- アーリーフーズ株式会社
- シノブフーズ株式会社
- 株式会社ミツハシ

その他取引先

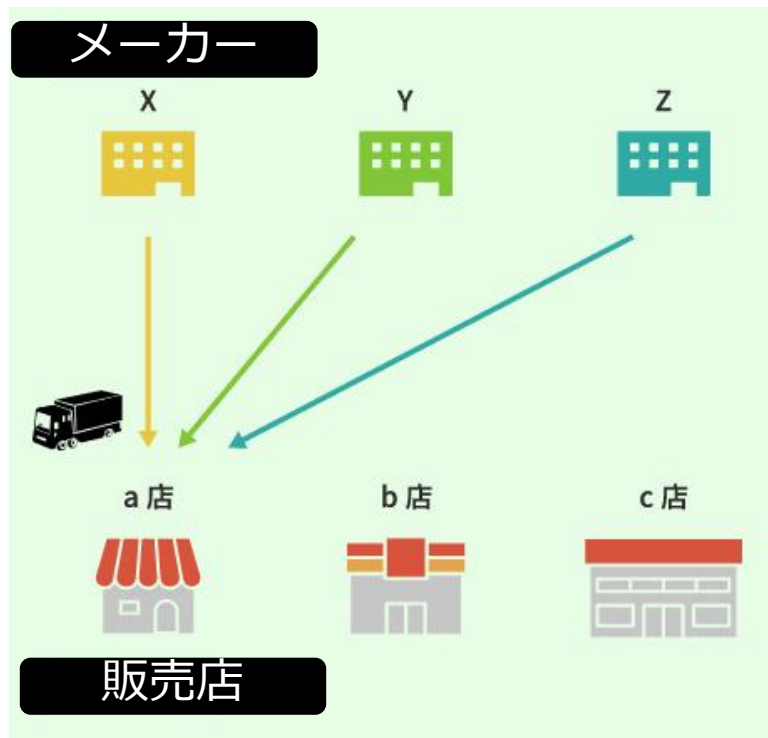
- 国分株式会社
- 株式会社日本アクセス
- 三菱食品株式会社
- 株式会社高山
- フレッシュデルモンテジャパン株式会社

他多数

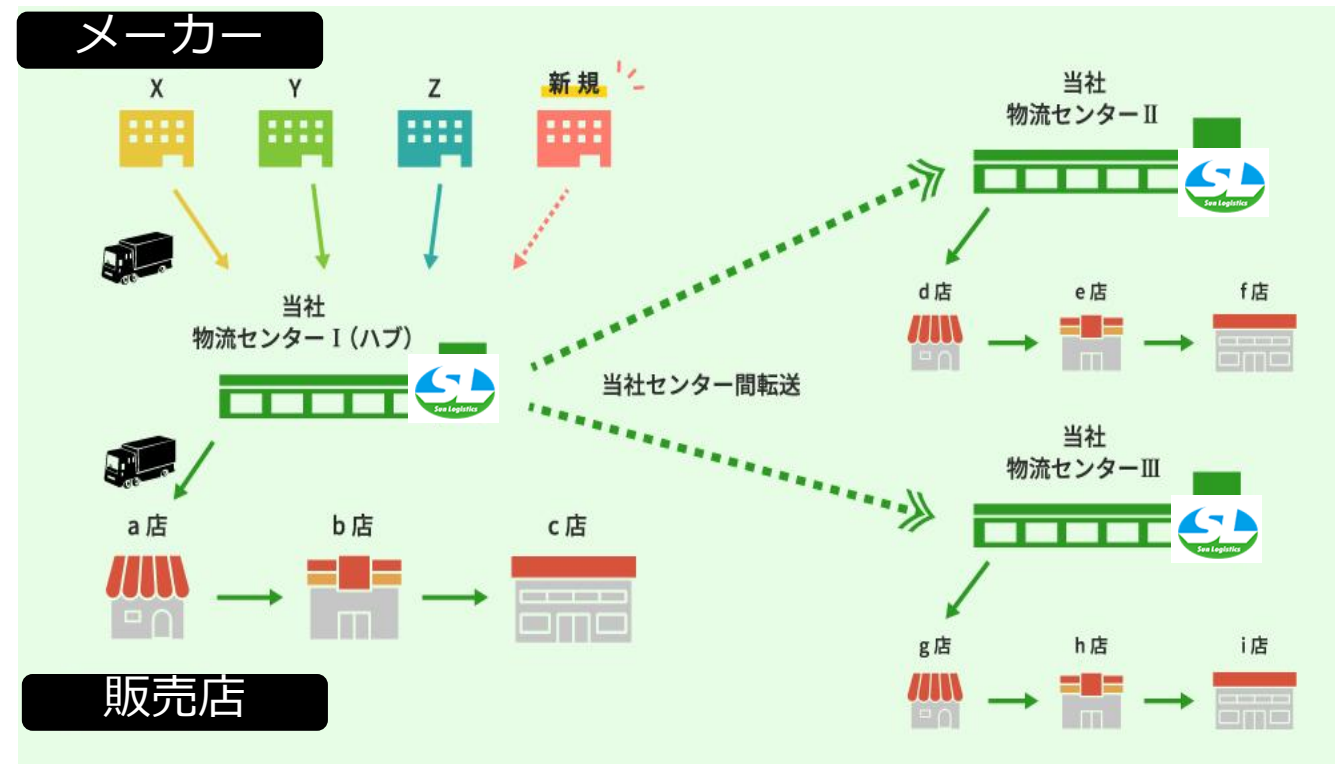
1. 会社概要 – 共同配送とは

複数の食品メーカーから複数の納品先へお届けする商品をお預かりし、
効率的に配送する「共同配送サービス」をご提供

共同配送導入前



共同配送導入後



1. 会社概要 - システム管理部の役割

システム管理部の役割：

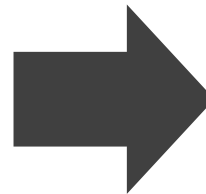
配送オペレーションを支える業務システムのあらゆるサポート

具体的な業務例：

全ての配送拠点のPCのセッティングからインフラの構築
システム開発から運用管理まで担当

開発の体制は大きく変化しています

従来の開発体制
外部ベンダー中心の開発



現在の開発体制
GeneXusを使い、内製化

2. 内製化に踏み切った「3つの課題」

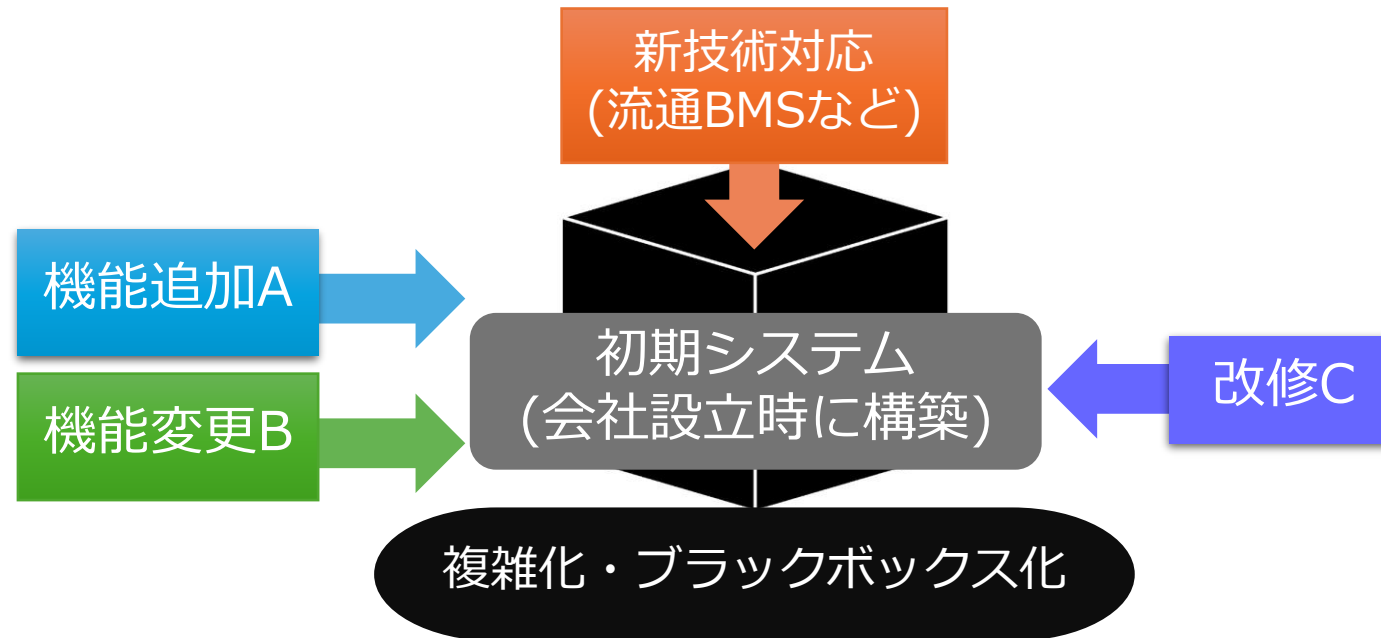
(課題①) システムの複雑化・肥大化

(課題②) データの分散

(課題③) ベンダー依存

2. 課題①：システムの複雑化・肥大化

10年越の運用：設立時のシステムに機能追加・変更を繰り返し肥大化
場当たりの対応：新技術(流通系BMS等)を後付け追加し、処理が複雑化

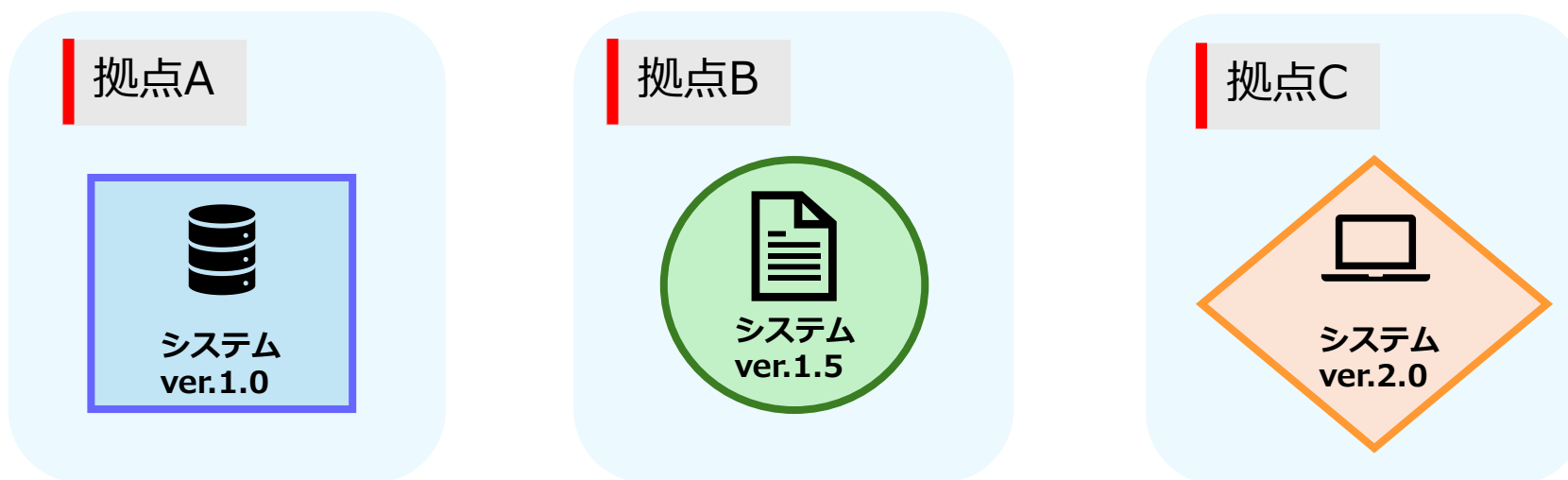


結果：軽微な改修にも手間がかかる

2. 課題②：データの分散

C/Sシステム：拠点データが一括管理されず、拠点ごとに独立・分散

独自改良：現場のニーズに合わせ、拠点ごとに設定や機能が「バージョン違いの」システムとして乱立



結果：全社的なデータの一元管理が不可能な状態に

2. 課題③：ベンダー依存

コストと時間：外部環境の変化への対応や保守の更新も全て「コストと時間」が障壁



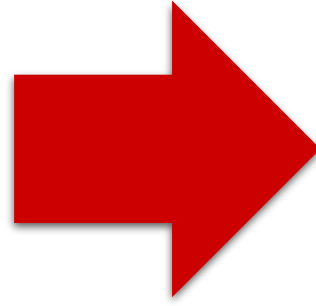
結果：「自分たちでコントロールできない」という課題を抱えることに

3. GeneXusの採用理由：内製化の挑戦



3つの課題

- ×システムの複雑化
- ×データの分散
- ×ベンダー依存



GeneXus

ローコード開発ツール

×

内製化



GeneXusで内製化

- ◎変化に即応
- ◎自社でコントロール
- ◎コスト削減

3. GeneXusの採用理由

過去の成功体験(山崎製パン時代)

製品統合マスタシステム「ASCA」再構築において、ベンダー開発から
社員による「GeneXusを用いた内製化」へ移行。その実体験で以下の効果を実感



①スピード

迅速な開発・改修



②コスト

外注費/保守費の削減



③柔軟性

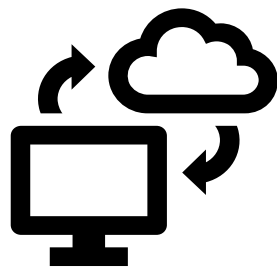
現場要望への即応

3. GeneXusの採用理由



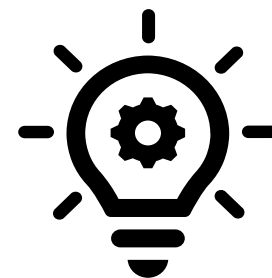
圧倒的な生産性

画面やロジックの設計は
GUIベースで直感的。
データベースや帳票なども
自動生成される。



移行の容易さ(脱・保守切れ)

GeneXusはマルチプラット
フォームに対応しており、
コード改修なしに新環境へ
移行できる。



取り組みやすさ

SQLを知らなくても
データベースを操作できる。
プログラミング経験がない担当
者が最初に取り組むツール
としてベスト。



4. 内製化の体制と開発実績



4. 内製化の体制

既存Sierとの関係を見直し、「開発委託」から「内製化の伴走支援」へ

体制・取り組み

GeneXusパートナー
イノベティブ・ソリューションズ

伴走支援
技術教育・QA対応

GeneXusの講習会や
開発のアドバイス等の支援

システム管理部

主体的な開発・保守
要件定義から
運用・保守まで

内製化による期待

コストの削減

外部への開発費やメンテナンスコストの
削減

社員のモチベーション向上

やりがいを見つけ会社に貢献

自社でシステムをコントロール

必要な機能の開発・データの利活用

4.開発実績：グループウェア

内製化の第一歩として、まずは全社共通のグループウェアを構築

主な機能

「スケジュール管理(部署別/個人別/エリア別)」 「社内用メッセージ」 「各種報告書申請」

Groupware

スケジュール ▼ メッセージ ▼ 名刺管理 ▼ ツール ▼ 個人設定 ▼ マスタメンテ ▼ 報告書(申請) ▼

今週のスケジュール

30日(水)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)
12:00 中番	12:00 中番	12:00 中番	12:00 中番	08:00 公休	08:00 公休	08:00 公休

未読メッセージ一覧

件名	送信者	送信日	送信時刻	完了	状態	タイトル	納期	優先度	進捗度
追加データ受信の件		25/04/30	13:16						

新規 Todoリスト

チェックしたTodoを完了

■ 7日以上 ■ 6日以内 ■ 期限切れ

Groupware

スケジュール ▼ メッセージ ▼ 名刺管理 ▼ ツール ▼ 個人設定 ▼ マスタメンテ ▼ 報告書(申請) ▼

日付 25/04/30

エリア 関西・中京エリア ▼

大阪センター	阪南センター	滋賀センター	名古屋センター
退勤 29日 12:17	08:00 公休	08:00 公休	08:00 公休
	01:00 通常業務 04:30 見極め		
	10:00 配車運番		
	退勤 27日 19:00	退勤 29日 16:14	退勤 29日 15:05
	00:00 庫内 17:00 庫内	在席 29日 4:47	07:00 事務
	在席 24日 16:39	退勤 30日 13:48	退勤 30日 10:15
	在席 30日 3:34	02:00 早番	
		在席 30日 6:56	
	12:00 配車		

4. 開発実績：会議室予約システム

本社の会議室の予約状況を管理

主な機能

会議室の予約・予約状況の管理

会議室予約

本日の会議室予定25/11/2129

第一応接室

第二応接室

商談ブース

4階会議室07:0017:00センター長会議

所沢研修センター1階

所沢研修センター2階07:0017:00センター長会議

今月の主な予定

日付	開始時間	会議室	会議名
25/11/25	11:00	4階会議室	
25/11/25	14:00	第一応接室	
25/11/25	14:00	第二応接室	
25/11/25	15:00	第二応接室	
25/11/26	08:00	所沢研修センター2階	
25/11/26	08:30	第二応接室	
25/11/26	12:00	4階会議室	
25/11/27	09:00	所沢研修センター1階	

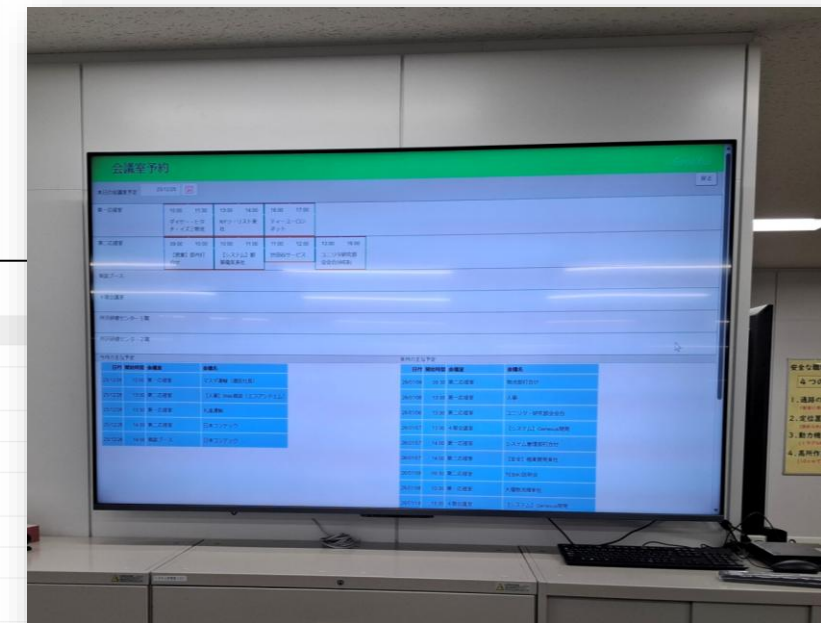
予定一覧

//

29

日付	会議開始時間	会議終了時間	会議室名	会議名	使用者	カテゴリ名	表示フラグ	登録者
25/12/19	15:30	16:30	第一応接室			会議(他社参加)	1	
25/12/19	15:00	16:00	第二応接室			会議(他社参加)	1	
25/12/23	10:30	11:30	第一応接室			会議(社内)	1	
25/12/25	10:00	11:30	第一応接室			会議(他社参加)	1	
25/12/25	14:00	15:00	第一応接室			会議(他社参加)	1	
25/12/25	14:00	15:00	4階会議室			会議(社内)	1	
25/12/26	10:00	11:00	第一応接室			会議(他社参加)	1	
25/12/26	13:30	14:30	第一応接室			会議(他社参加)	1	

<<<>>>



25/12/04 16:17 更新 削除

4. 開発実績：カート管理システム

カートがどこにあるかを確認することができる

主な機能

カートの入出庫履歴や滞留状況を管理



出入庫履歴

センター: 川越配送センター

開始日: 21/08/01 終了日: 21/08/31

PDF

出庫日	店舗数	出庫数	入庫数(回収数)	回収率(%)	未回収カート
21/08/20	45	59	48	81	11
21/08/18	32	32	30	93	2
21/08/13	42	47	45	95	2
21/08/11	43	43	33	76	10

棚卸履歴

センター: 川越配送センター

開始日: 21/08/01 終了日: 21/08/31

PDF

棚卸日付	棚卸台数	出庫中台数	在庫数
21/08/23	160	0	160
21/08/22	172	0	172
21/08/21	229	0	229
21/08/20	260	0	260
21/08/19	66	0	66

カート管理システム

検索条件を開く Ex_Output

管理番号	所在センター	出入庫状況	出入庫時間	出入日	配送店舗
0001226	川越配送センター	入庫中	21/05/10 18:02:39	21/05/11	
0001230	川越配送センター	入庫中	21/05/11 19:10:45	21/05/12	
0001228	川越配送センター	出庫中	21/05/12 00:11:45	21/05/12	IN松戸新田
0001237	川越配送センター	入庫中	21/05/17 19:59:10	21/05/18	
0001243	川越配送センター	入庫中	21/05/31 20:10:59	21/06/01	
0001242	川越配送センター	入庫中	21/05/31 20:11:22	21/06/01	
0001255	川越配送センター	入庫中	21/06/09 18:06:58	21/06/10	

4. 開発実績：業務報告システム

配送拠点と本社で入荷状況を確認

主な機能

報告機能(各配送拠点に配送された商品の入荷状況や仕分け状況、品質状況など)

業務報告

西島 莉志 ログアウト

HOW FILTERS

業務報告 (メイン)

報告ID

報告ID	便区分	センター名	通過枚数	米重量 (kg)	出荷状況	本社確認
3040202511091	午前便	むさしの配送センター	42,280	0.00	OK	担当者A
3040202511093	午後便	むさしの配送センター	10,579	44,645.00	OK	担当者B
3031202511091	午前便	東京配送センター	21,300	0.00	OK	担当者C

業務報告 (メイン) Information

センター名 むさしの配送センター

基本情報

入荷状況 (最終)

配分状況

品質状況

マテハン稼働状況

配送状況 (出発遅れ)

朝礼・引継ぎ

本社確認

一括更新

メーカーコード	メーカー名	開始予定時刻	開始実績時刻	終了予定時刻	終了実績時刻	ピース数	アイテム数	配分金額	人員数	備考
77770200	メーカーA	14:00	13:27	03:00	02:11	51,202	355	5,713,861	7	
77770400	メーカーB	21:00	18:04	03:00	01:34	14,068	60	2,011,724	7	
77770800	メーカーC	20:30	18:55	01:30	01:19	21,189	178	1,952,648	6	
77770700	メーカーD	19:00	19:01	22:00	20:31	5,078	21	873,266	2	
82000001	メーカーE	20:00	20:00	01:30	23:45	1,813	27	0	3	

業務報告 (メイン) Information

センター名 むさしの配送センター

基本情報

入荷状況 (最終)

配分状況

品質状況

マテハン稼働状況

配送状況 (出発遅れ)

朝礼・引継ぎ

本社確認

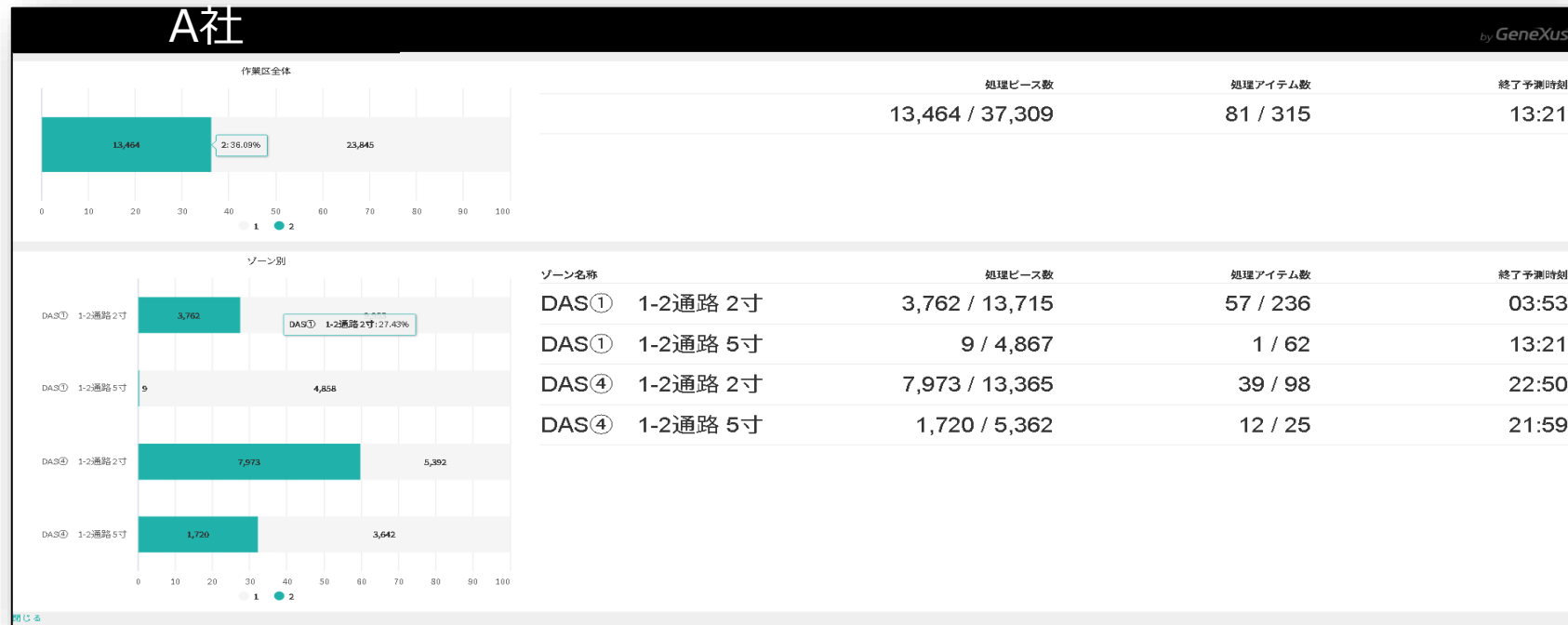
品質項目コード	品質項目名称	問題なし	内容	報告担当者名
1001	データ受信	☑		担当者A
1002	庫内温度 (18°C~22°C)	☑		担当者B
1003	入荷検品	☑		担当者C
1004	配分時検核	☑		担当者D
1005	差異表活用	☑		担当者E
1006	残品処理	☑		担当者F
2001	伝票確認	☑		担当者G

4. 開発実績：仕分け進捗管理システム

配送拠点内で仕分けの作業進捗を管理

主な機能

仕分け進捗状況確認(配送拠点内のエリア別・メーカー別)



4. 開発実績：青果仕分けシステム

数量変更や発注変更を素早く行えるように見える化

主な機能

「仕分けの帳票作成」「スリム連携(配送システムとの連携)」

青果配分システム

Menu 配分業務 データ処理 実績管理

検索条件

納品日 25/11/28 29

便 午前便

センター むさしの配送センター

チェーン

取引先

再表示

リスト作成 & SLIM連携

商品選択 車別表記一括変更

車別表記	商品コード	受信商品名	CS入数	表示商品名	合計数量	発送店舗数	取引先
<input type="checkbox"/> 番重	08029989	Aバナナ	28	Aバナナ	201	52	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08030006	Bバナナ	28	Bバナナ	151	37	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08030413	Cバナナパック	12	Cバナナ	14	14	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08030448	Dバナナ	20	Dバナナ	36	29	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08036276	Eバナナ	1	Eバナナ	3	1	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08038708	Fバナナ	1	Fバナナ	2	1	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08049459	Gバナナ	39	Gバナナ	35	28	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08091072	Hバナナ	28	Hバナナ	50	29	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08099472	Iバナナ	24	Iバナナ	373	88	A社
<input type="checkbox"/> 番重	08101388	Jバナナ	20	Jバナナ	2	1	A社

1ページの先頭へ戻る

4. 開発実績：米仕分けシステム

旧システムの不安定さ、属人化した作業からの脱却のため再構築

主な機能

各メーカーやチェーンからのデータをもとに「検品表」「仕分け表」「配送コース表」などを作成

米配分システム2025

西島 将志 (本社) LOGOUT

物量照会 ▾ 配分リスト作成 ▾ SLIM連携 ▾ 実績管理 ▾

× HIDE FILTERS

米重量照会

再表示 入荷検品表設定

納品日
25/12/15 29

配分センター
広島配送センター ▾

チェーン
(なし) ▾

※ 各重量の値をクリックすると、数量・アイテム数・データ件数が表示されます。

配送センター別		EXCEL	
センターコード	センター名	一般米重量	惣菜米重量
03150	広島配送センター	599.010 kg	0.000 kg
			入荷検品表
03170	山口デポ	25.000 kg	0.000 kg
			入荷検品表

チェーン別		EXCEL	
チェーンコード	チェーン名	一般米重量	惣菜米重量
150		624.010 kg	0.000 kg
			入荷検品表

メーカー別		EXCEL	
メーカーコード	メーカー名	一般米重量	惣菜米重量
105600		624.010 kg	0.000 kg
			入荷検品表

ページの先頭へ移動



4. 内製化による「効果」

① 運用効率の向上

- 拠点間でシステムが統一され、本部からの一元管理を実現
- 拠点ごとに発生していた個別作業が無くなり、管理工数の削減

③ データ利活用の促進

- 全国の拠点データを一元的に把握・収集可能に
- 属人化していたExcelマクロ等でのデータ加工作業が不要

② コストとリスクの低減

- ベンダー依存から解放され、外注コストが大幅に減少
- H/W・S/Wの保守切れリスクと、移行コストから解放

④ 「人」と「組織」への好影響

- 社員のモチベーションと「自ら作る」ことへのやりがい向上
- プログラミング未経験部員がWebアプリを開発する事例も



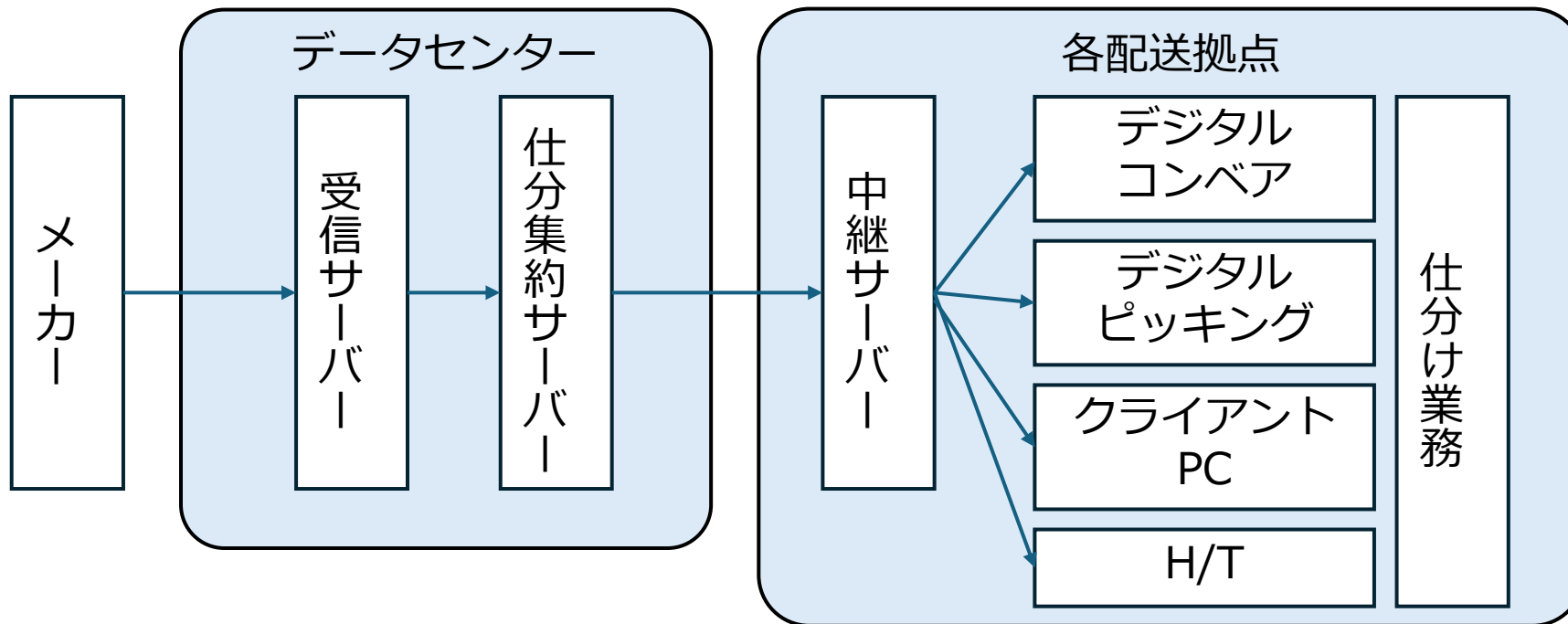
5. これからの展望

6. まとめ



5. これからの展望：基幹システム刷新

2024年より最重要課題である基幹システムである
「商品の仕分けシステム」の再構築に本格着手しました。

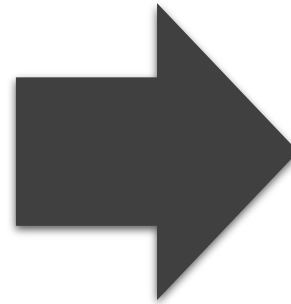


既存システムはC/S方式で配送拠点ごとにサーバー設置・管理が必要でした。
Webアプリケーション化により一元管理、メンテナンスコストの低減を図ります。

6. まとめ - GeneXusがもたらした変化

Before

- ベンダー依存：高コスト・低スピード
- 複雑なシステム：改修・保守が困難
- 人材：「現状維持」の運用・保守
- 意識：システム＝「コスト」



After(効果)

- 内製化主導：高速・柔軟な開発
- シンプルなシステム：GeneXusによる一元管理
- 人材：「価値創造」への関与・やりがい
- 意識：システム＝「成長を支える基盤」

GeneXusは、単なる効率化のためのツールではなく、
社員一人ひとりの夢ややりがいを育み、
理想とするシステムを、自分たちの手で形にできる存在

ご清聴ありがとうございました



株式会社

サンロジスティックス

20th
Anniversary

COPYRIGHT (c) SUN LOGISTICS CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.